

議会報告

平成28年 第1回定例会 一般質問 (平成28年2月19日)

◆不妊・不育症支援について

質問：出生率向上の観点から、妊娠するものの流産・死産を繰り返す症状である不育症の治療費助成制度の導入をすべき。

答弁：治療方法によって差異が生じる金銭的負担に対する支援については医学的研究を踏まえた今後の国の動向を注視してまいりたい。

再質問：270以上の自治体が導入している。積極的に導入すべき。

奥山市長答弁：今後の検討すべき課題の重要な一つと受け止めている。

* 公明党仙台市議団の総括質疑(3月10日)においても訴えました。



◆その他の主な質問項目

妊産婦・乳幼児の防災対策について

- 妊産婦避難所の拡充
- 平成25年第2回定例会において提言した「妊産婦・乳幼児を守る災害対策ガイドライン」の検討状況

復興公営住宅について

- これまでの落選者に対する入居調整状況と今後の入居募集
- 今後、市営住宅としての一般公募の時期と制度の狭間で募集対象外の被災者の優遇措置

一般不妊治療助成・男性不妊治療費助成について

予算等審査特別委員会 (土木費平成28年3月4日) (教育費平成28年3月7日)

◆これまで入居者が自己負担した市営住宅の風呂設備の交換について

質問：平成27年度は30戸に対して11倍の応募であった。今後、「仙台市営住宅長寿命化計画」にしっかり盛り込み、希望する入居者に設置できるよう戸数を拡充すべき。

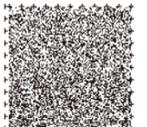
答弁：計画的に事業を進めることが必要であると認識しており、長寿命化計画に今後位置付けて推進してまいりたい。設置戸数の拡充についてもあわせて検討してまいりたい。

◆不登校児童生徒の対策について

質問：仙台市適応指導センター「児遊の杜」「杜のひろば」の入級手続きに要する時間の改善を求める。

答弁：前年度からの継続入級の手続きも含め、入級申込みからの事務手続き等で簡素化できる箇所の検討を行い、入級希望者がより早い段階で入級できるよう努めてまいりたい。

* 仙台市適応指導センターは、不登校児童生徒や保護者等の支援を行っており、居場所づくりとして、学校や市民センターなどの一角に7か所開設している。仙台市の近年の不登校児童生徒は1,000人を超えており年々増加している。



SPコードは視覚障害者の方のための「文章読み上げ装置」用のコードです。装置は、仙台市内各区役所に設置してあります。

◆その他の主な質問項目

- 仙台市適応指導センターの訪問対応の拡充強化
- 発達障がい児の児童生徒の支援について
- 通常の学級に配置する特別支援教育指導補助員の拡充
- 読みが苦手な子どもの学習支援であるデージー教科書の周知強化等
- 発達障がいの早期発見に有効な5歳児健診の導入



◆◆ 皆さまの声をカタチにしました! (実績抜粋) ◆◆

■ 鉤取4丁目9付近T字路に止まれの標識設置



地域の安全対策

■ 西多賀4丁目セブンイレブン仙台西多賀店付近の縁石の段差解消



■ 上野山1丁目西多賀病院付近にカーブミラーの設置



■ 羽黒台3付近の市道の段差解消



■ 鉤取2丁目仙台西高校バス停前(宮交)に街灯設置

■ 長町8丁目20付近で以前、農業用に使用されていた水路に危険防止の看板設置

■ 5ヶ所の街路樹等の剪定
茂庭台2丁目7と3丁目29付近・人来田1、2丁目付近のバス通・長町越路2号公園・佐保山13と15付近



太白区区役所の正面玄関側に車いす用駐車スペースの新たな設置と生活保護課の面談スペースが改善されました!!



昨年の第3回定例会・決算等審査特別委員会で、駐車スペースについては障がいのお持ちの方からのお声を通し、バリアフリー化とプライバシー保護の観点から求めたものです。



SPコードは視覚障害者の方のための「文章読み上げ装置」用のコードです。装置は、仙台市内各区役所に設置してあります。